

プラシエル Q&A

● 環境・法規制について

Q：プラシエル製品への表示は？

A：バイオマスマークが表示可能です。

Q：プラシエルの廃棄はどうすればいいですか？

A：一般ごみ（燃えるゴミ）として廃棄できます。

Q：リサイクルは可能ですか？

A：はい。可能です。

Q：焼却処分した際に有毒ガス等発生しますか？

A：いいえ、発生しません。炭酸カルシウム由来の灰が残ります。

Q：土にかえりますか？

A：いいえ、プラシエルは40%PPが含有されている為かえりません。
別タイプでプラシエル生分解タイプもラインアップしています。

Q：容器包装リサイクル法上の扱いはどうなりますか？

A：容器包装リサイクル法の対象外となります。卵の殻は再生委託料の対象から外れます。

Q：食品衛生法上の取扱いはどうなりますか？

A：プラスチック（卵殻51%以上）ではないので対象外となります。また、食品容器としてご使用の場合、PEコーティングにより対応も可能です。

Q：各種輸出規制（ROHS、REACH等）は対応可能でしょうか。

A：有害物質は含まれておりませんので対象外となります。

Q：卵の殻を回収頂く事は可能ですか？

A：通常は回収しておりません。



● 材料・材質について

Q：卵アレルギーは大丈夫ですか？

A：高温処理していますので問題ありませんが、医学的な検証を行ってはおれません。
卵アレルギーの方で不安がある方は使用を避けて下さい。

Q：カタログに【卵殻抗菌剤5%】とありますが、どのような素材ですか？ また、抗菌作用はありますか？

A：卵殻パウダーを800℃～1000℃で焼成して出来上がった焼成カルシウムです。抗菌性は有ります。

Q：匂いはありますか？

A：製品により卵の匂いが残る場合がございます。

● 生産対応について

Q：どのような成型方法が可能でしょうか？

A：真空成型、インジェクション成型等が可能です。

Q：成型機、金型を改造する必要はありますか？

A：既存の成型機がそのまま使用可能です。まれに金型は、製品によって変更の必要が有ります。

Q：PP以外の素材も生産可能でしょうか？

A：生産可能です。一般的にPPとPEを採用しております。

Q：着色は可能ですか？

A：はい、可能です。

Q：供給能力はどれくらいですか？

A：1日10t～20t程度供給可能です。

Q：納期はどれくらいですか？

A：製品毎に納期は違いますので別途ご相談となります。



● その他

Q：価格はおいくらですか？

A：製品毎に違いますので別途ご相談となります。

Q：PPバージン品と比べた強度比較データはありますか？

A：はい、有ります

Q：製品化実績はどのようなものがありますか？

A：一例として、保管用トレー、オープナー、ゴルフティー等が御座います。

Q：卵の殻を使用する開発の意図は何ですか？

A：CO₂削減とゼロエミッションです。